

11月28日（月）教育長を訪問

報道提供資料
 令和4年11月21日
 学校名 広島県立吉田高等学校
 担当者 教頭 中津 茂生
 電話 0826-42-0031
 課名 高校教育指導課
 担当者 主査 中村 幸子
 内線 4998
 直通電話 082-513-4998

ひとしづく

ついに完成！100%吉田高校産ブドウジュース「青春の一滴」

～地域の方や道の駅とも連携し、商品開発に挑戦しています！！～

吉田高等学校アグリビジネス科では、授業で栽培したブドウの販売や商品化を通して、地域との協働学習を進めています。これまでの「道の駅での販売」に加え、今年度は、「ふるさと納税の返礼品」、「ブドウジュースの開発・販売」に挑戦してきました。ブドウの生産から加工・商品化・販売までを地域と共にリアルに体験してきた中で感じたこと・学んだことを、教育長に報告します。

1 教育長訪問について

- (1) 日時 令和4年11月28日（月）15:30～16:00
 (2) 場所 県庁東館4階 教育長室
 (3) 訪問者 アグリビジネス科 3年生 片渕 歩夢 かたふち あゆむ 井野 佑優 いの ゆうま 辛島 優一朗 からしま ゆういちろう 松川 詩音 まつかわ しおん

2 活動内容

吉田高校のブドウ栽培は、昭和37年のデラウェア栽培から始まりました。現在では多くの品種を栽培し、吉高ブドウをテーマとした様々な研究に取り組んでいます。



【ブドウの栽培管理の様子】

(1) ふるさと納税の返礼品

今年の夏は、安芸高田市の「ふるさと納税の返礼品」として選定いただき、吉高ブドウが全国デビューしました。着色状況、傷の有無を見極め、房の形をこれまで以上に丁寧に整えると同時に、クッション材を敷き詰めて贈答用として仕上げる方法を学びました。お客様アンケートから、美味しいという評価をいただき、栽培技術に自信が持てました。



【出荷を待つブドウ】

(2) ブドウジュース「青春の一滴」

今年の秋には、マスカット・ベリーAを使った商品開発に取り組みました。酸味が強く、ほのかな甘味が特徴であるこのブドウは、房の形が整いにくいことから、味に問題がなくても廃棄量が増えてしまうことが課題でした。今回、地域の支援により、そのような果実をジュースに加工し、新たな価値を付けて販売することができました。「青春の一滴」と名付けた100%吉高産マスカット・ベリーAのブドウジュース開発には、商品名や味・ボトルのサイズ・ラベルデザインの部分を探究科の生徒が担いました。



ひとしづく
【青春の一滴】

3 今後の抱負

商品化は、地元の道の駅や地域おこし協力隊の方からの協力無くしては実現しませんでした。活動の場を地域に広げることで、生徒は多くの視点を獲得することができました。今後も、吉高ファン拡大に向けた取組の中で、学習の成果を生かすとともに、一人一人が地域に貢献できる人材として成長できるよう頑張ります。